

取り付けと接続

NVX-DV700

Sony Corporation ©2001 Printed in Japan



本機の接続コードの色は、JEITA*コードカラーに準拠しています。
*JEITAは、電子情報技術産業協会の略称です。

付属部品の確認

この「取り付けと接続」に記載されている取り付け先または接続先の機器は、すべて別売り品です。ただし付属品は除きます。

ナビ本体

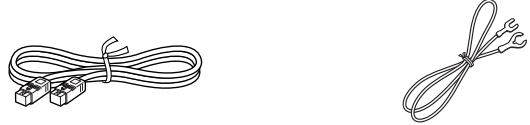
- ① マジックテープ (50cm)*
- ② 電源コード
- ③ 圧着式コネクタ×3



*マジックテープは、①と②、⑦の作業で必要な分だけ切ってください。後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。

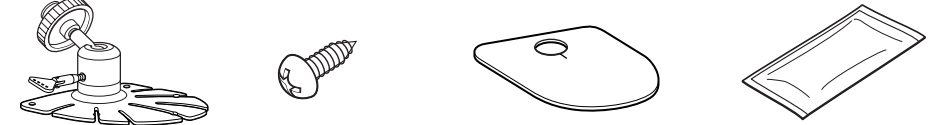
コネクションボックス

- ④ コネクションボックス接続コード
- ⑤ アースコード



モニター

- ⑥ スタンド
- ⑦ 固定用ネジ×3
- ⑧ スタンドカバー
- ⑨ クリーニングクロス



- ⑩ コードクランパー×10 (GPSアンテナ用を含む)



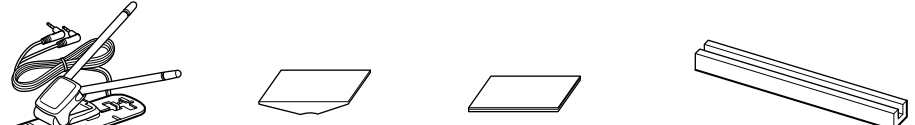
GPSアンテナ

- ⑪ GPSアンテナ
- ⑫ クッション



TVアンテナ

- ⑬ TVアンテナ (左1、右1)
- ⑭ 防水ゴム×2
- ⑮ 両面テープ×2
- ⑯ コードガイドレール×2

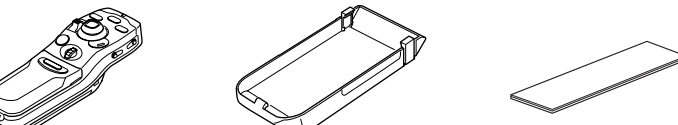


- ⑰ クリーナー液
- ⑱ 不織布
- ⑲ コードクランパー×6



リモコン

- ⑳ ナビシステム用
- ㉑ リモコンホルダー
- ㉒ 両面テープ



ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話でご利用いただけます)
カーフィッティングFAXサービス 車種・メーカー・車種・車種形式別のカーオーディオ部の
取り付け方法、各種センサー位置等の資料
①インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信
②資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してく
ださい。
24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様の負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

カーナビゲーション製品の保証期間中の操作や
取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ
(カーAV/カーオーディオ専用)
0120-64-0131(フリーダイヤル)

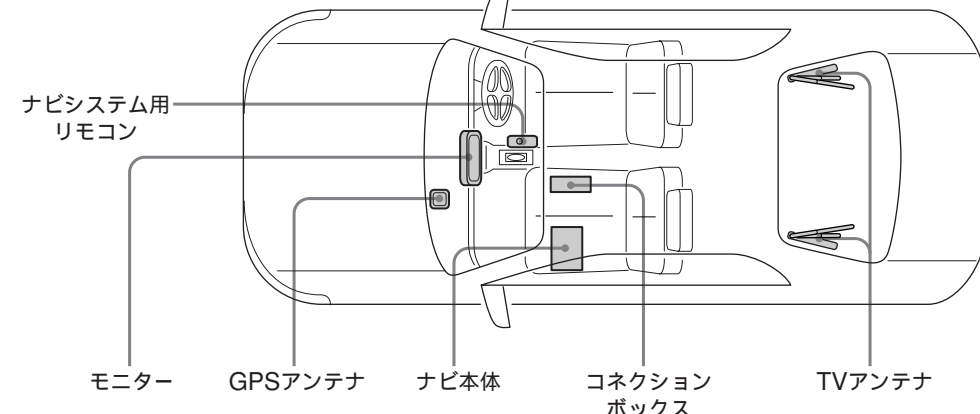
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様相談センターへ
お電話 0570-00-3311
お問合わせはお客様相談センターへ
お電話 0570-00-3311
お問合わせはお客様相談センターへ
お電話 0570-00-3311
お問合わせはお客様相談センターへ
お電話 0570-00-3311

この説明書は再生紙を使用しています。



取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。

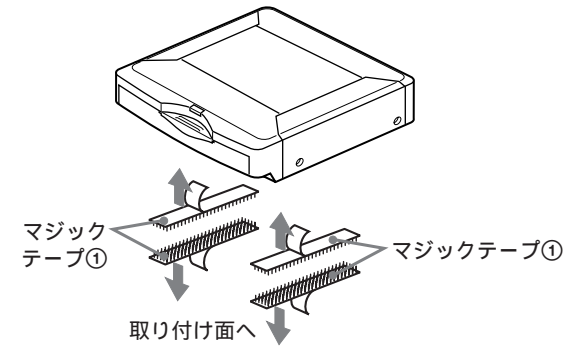


- ご注意**
ナビ本体とコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出ることがあります。
- 1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく
- 2 仮置きして(上図参照)、ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

1 ナビ本体を取り付ける

- ご注意**
マジックテープ①は、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
●横置き位置で水平5°以内、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。
●取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
●次のような場所への取り付けは避けてください。
- 高温になる場所
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ

マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーベットなどに取り付ける

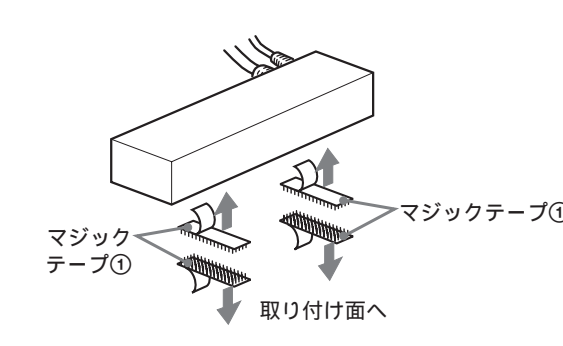


マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

2 コネクションボックスを取り付ける

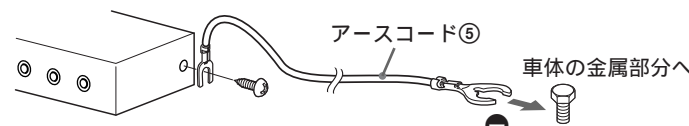
- ご注意**
マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
●ナビ本体とコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出ることがあります。
●取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
●マジックテープは中央部の銘板を避けて取り付けてください。
●次のような場所への取り付けは避けてください。
- 高温になる場所
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ

マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーベットなどに取り付ける



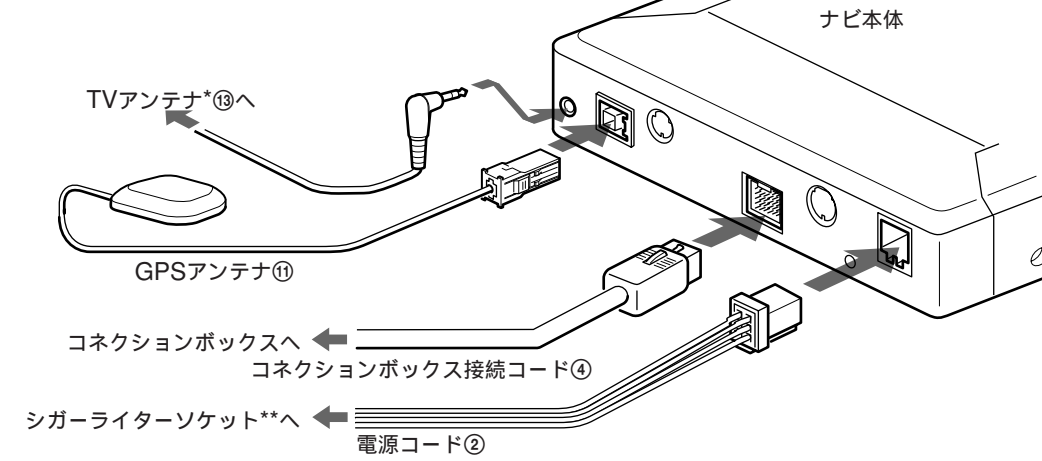
マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

オルタネーターノイズが発生するときは
オルタネーターノイズ(エンジン回転を上げたときのヒューンという音)が発生する場合には、アースコード⑤をコネクションボックス側面のネジで固定し、もう一方を車体の金属部分のビスに接続(アース)してください。



3 ナビ本体と接続する

下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。

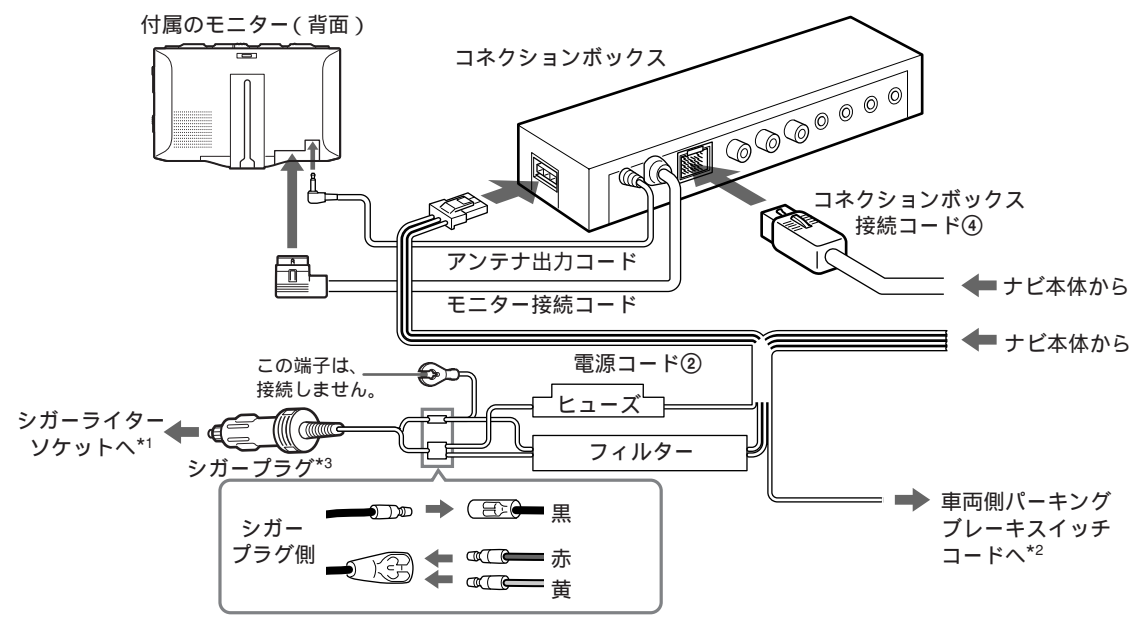


- ご注意**
TVアンテナの4系統のアンテナ入力うちの1本を使用してください。詳しくは、右欄の「⑥ TVアンテナを取り付ける」をご覧ください。また、アンテナ分配器XA-48FM(別売り)またはFMアンテナVCA-14(別売り)なども接続できます。
**作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。

●**ちょっと一言**
別売りの簡易車速/リルス発生器XA-200Sをお使いになると、ナビゲーションシステムの車速位置の精度が向上します。XA-200Sでは、カーコンピュータの車速/リルスと接続する必要があります。

4 コネクションボックスと接続する

本機は、電源にシガーライターソケットを使うことで、電源への接続を簡単にしています。下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。

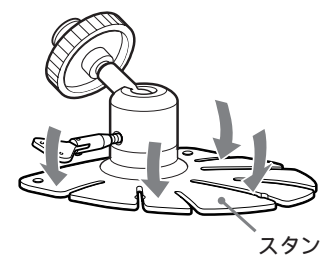


- ご注意**
シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接触不良を起すことがあります。シガープラグ部分が熱くなります。お使いになる前に、必ず点検、清掃をしてください。
- **作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。
**パーキングブレーキスイッチコードに接続しないと、ナビゲーションシステムが走行中と誤ってしまい、設定や登録などの複雑な操作やテレビビデオ画像の表示ができなくなります。詳しくは、裏面の「各コードの接続について」をご覧ください。
**お買い上げ時は、接続された状態になっています。一部の車種によっては、車両側のシガーライターソケットに本機のシガープラグがうまく差し込めないことがあります。シガープラグを使用しない場合は上記イラストの部品をはずして接続してください。

5 モニターを取り付ける

取り付ける位置については、裏面の「モニターを取り付ける前」をご覧ください。

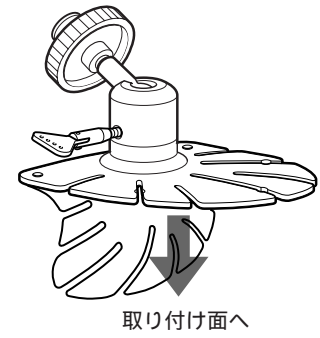
- 1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑥を曲げる



曲げすぎで、スタンドが浮かないようご注意ください。

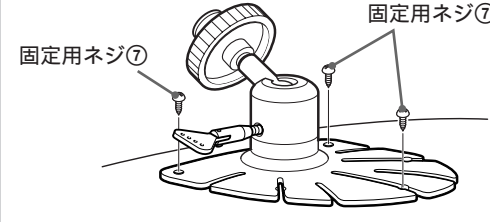
- 2 クリーニングクロス⑨で取り付け面の汚れを落とす

- 3 両面テープのはり紙をはがし、貼り付ける



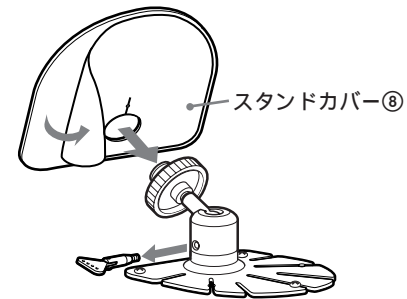
- 取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヘアドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
●取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
●取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

- 4 固定用ネジ⑦で固定する

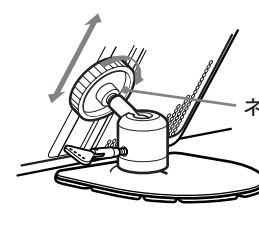


取り付け状態でのネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

- 5 スタンドカバー⑧を接着する

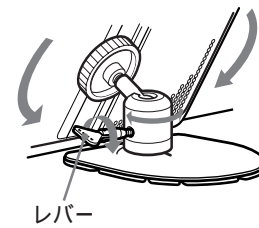


- 6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める



車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締め固定します。

- 7 レバーをゆるめて角度を調節する

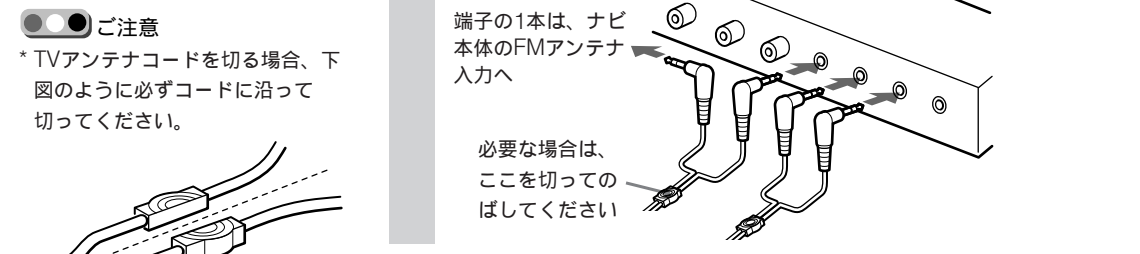


調節後はレバーをしっかり締めて固定します。

6 TVアンテナを取り付ける

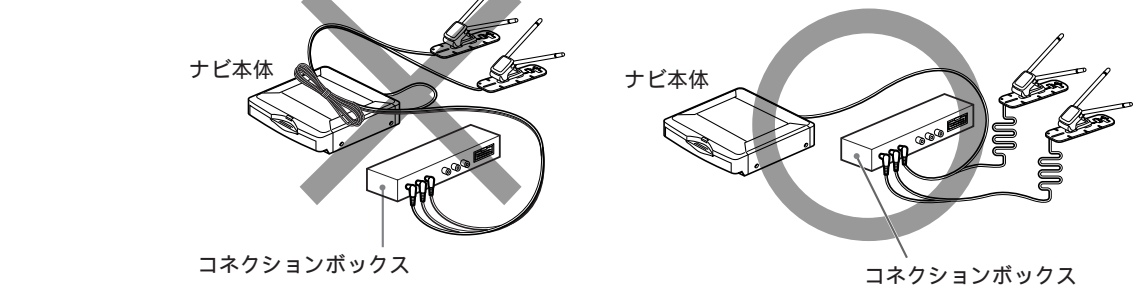
裏面の「TVアンテナの取り付けについて」もあわせてご覧ください。

- 1 TVアンテナ⑬をリヤウインドウに取り付ける
- 2 TVアンテナコードを配線する
下図を参照してください。
- 3 TVアンテナコードを接続する

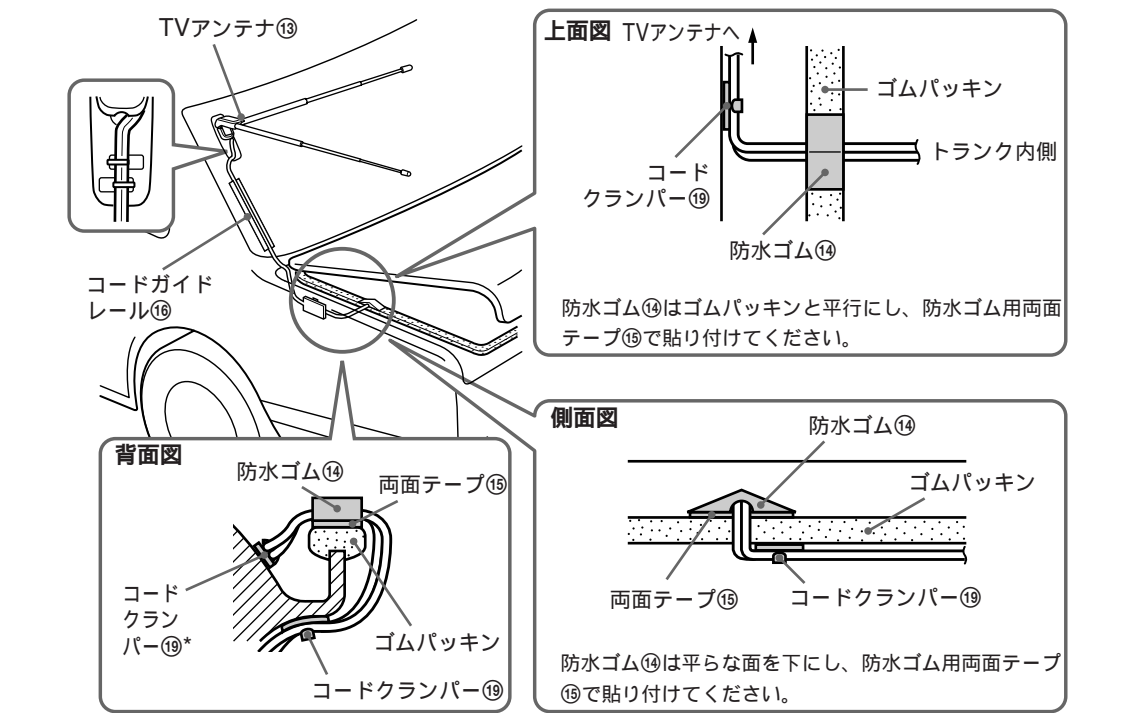


端子の1本は、ナビ本体のFMアンテナ入力へ
必要の場合は、ここを切ったほうがいいです

TVアンテナコードの余長分の処理について
TVアンテナコードを束ねてナビ本体の近くに設置すると、ノイズが発生することがあります。コードは束ねないようにまとめ、ナビ本体からできるだけ離れた所に設置してください。



配線のしかた

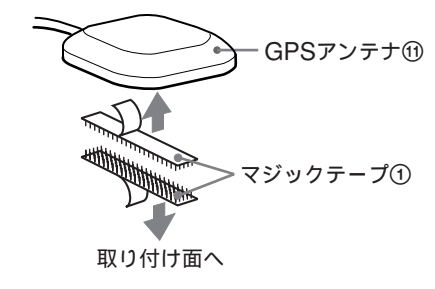


*このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。

7 GPSアンテナを取り付ける

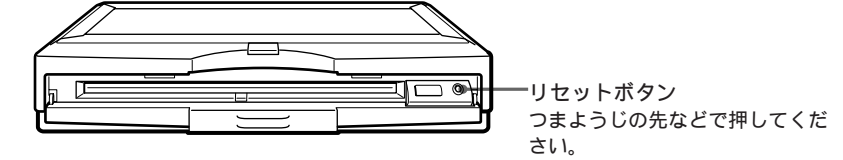
- ご注意**
一部のウィンドウガラスには、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。
●ダッシュボードやリアトレイなど、なるべく水平な場所に取り付けてください。
●取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
リアトレイや車外に取り付ける場合は裏面の「GPSアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

マジックテープ①を必要な分だけ切り、GPSアンテナ⑪を取り付ける



8 車のエンジンをかけて、リセットボタンを押す

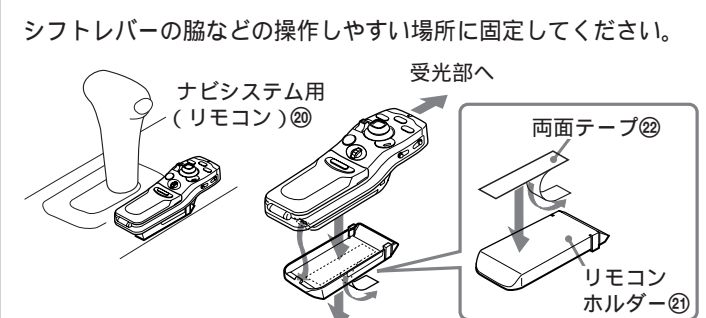
必ず車のエンジンをかけてから、リセットボタンを押してください。



9 リモコンを取り付ける

- ご注意**
次のような場所への取り付けは避けてください。
- シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになる場所
- 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになる場所
- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのある場所
●取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

両面テープ②で、リモコンと受光部が向き合うように取り付け



両面テープを取り付け前、リモコン操作が正しくできることを確認してください。

警告 安全のために

警告表示の意味
「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
火災 感電 行為を禁止する記号 禁止 分解禁止

警告 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡**や大けがの原因となります。

禁止 24時間以上 本機はDC12Vマイナースター専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

禁止 前方の視界を妨げる場所に取り付け 前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

禁止 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け 動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動作せず、けがの原因となります。

禁止 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け 運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

分解や改造をしない 火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切ったり、他の機器の電線をこじり、リード線の電流容量を超えたりします。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない 上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

シガーライターソケットを点検・清掃する シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接触不良を起こし、シガープラグ部分が熱くなります。シガープラグが発熱すると、火災などの重大事故の原因となります。

注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

禁止 安定した場所に取り付ける 振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

禁止 TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け 歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

付属の部品で正しく取り付け 他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

モニターを取り付ける前に

ご注意
●助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けください。
●不安定な取り付けは絶対にお避けください。走行中にはずれることがあり、大変危険です。

モニターは、安全性を重視して設計されていますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行ってください。

取り付け位置
前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。極端に目線を下げる位置に設置しないでください。

取り付け位置のポイント
運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。

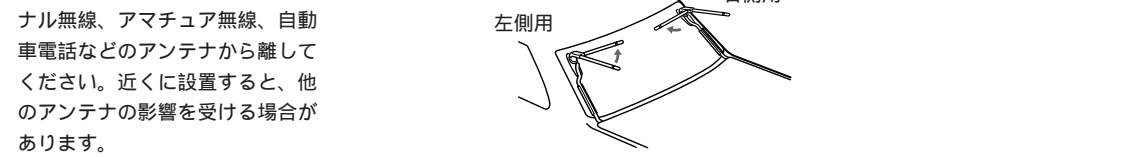
●極端に低温または高温になる場所や(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)、直射日光が当たる場所をさけてください。
●モニターを取り付けるときは下記の明るさ検知部を覆ったり、ふさいだりしないよう取り付けてください。

取り付け例
モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。ダッシュボードが曲面の場合 タッチボードが平面の場合
モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。 モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。

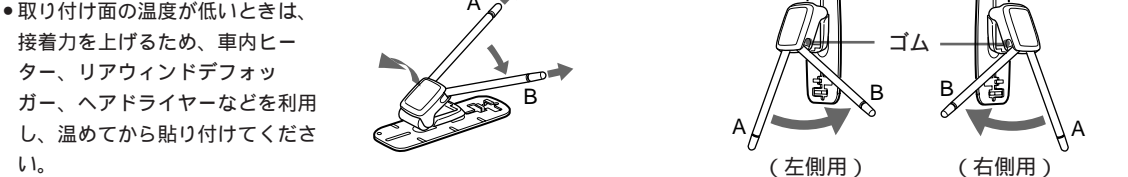
ご注意
一部のウィンドウガラス(フロント、リア等)にも、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

TVアンテナの取り付けについて

取り付ける前に
●必ずリアウィンドウに取り付けてください。
●車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離してください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
●エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。
●湿気の多いとき(雨、霧など)は、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
●取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドウデフォッガー、ヘッドリャーなどを利用して、温めてから貼り付けてください。



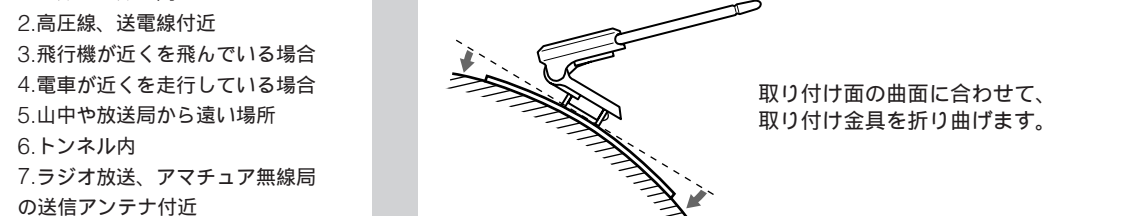
TVアンテナの使いかた
TVアンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっばいにはし、エレメントBを内側へ倒します。(取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。)
車内に取り付けの場合、視界をさまたげないように、TVアンテナ可動部のゴムをはずして90°に広げてください。



TVアンテナの取り付け
あらかじめ、クリーナー液⑩と不織布⑪で、貼り付け面の油やワックス、ほこりなどを拭きとっておきます。クリーナー液が乾いたら水で洗い流し、乾いた布で乾拭きしたあと、以下の手順で取り付けてください。
盗難、いたずらなどを防止するために、TVアンテナ⑨は簡単に取り外し・取り付けできる構造になっています。ただし、アンテナコードをTVアンテナ⑨のクランパーに差し込んでいたときは、必ずコードをクランパーからはずしてください。

ご注意
ご使用の車を洗車機にかけるときは、必ずTVアンテナをはずしてください。
●ご使用の車を洗車機にかけるときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。
●ご使用の車を洗車機にかけるときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

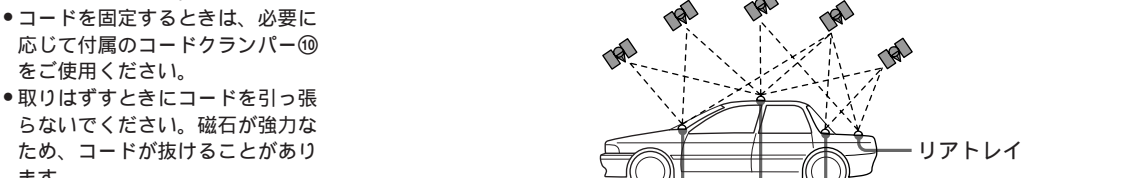
1 TVアンテナ⑨の台座を貼り付け面に合わせて折り曲げる
取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。



2 台座裏面のはくり紙をはがし、貼り付ける
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

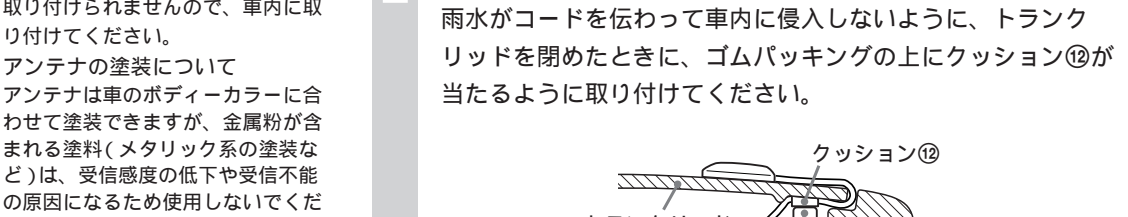
GPSアンテナの取り付けについて

車外に取り付ける場合
GPSアンテナ⑨は、磁石で取り付けます。GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。



1 トランクリッドなどの上に取り付ける
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

2 トランクリッドの裏側にクッション⑫を取り付ける
雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを開けたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑫が当たるように取り付けてください。

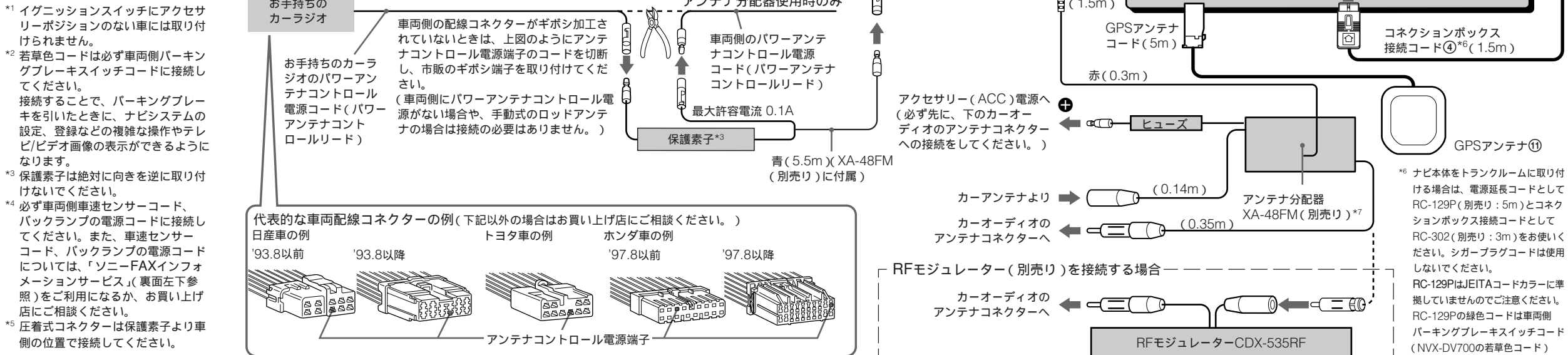
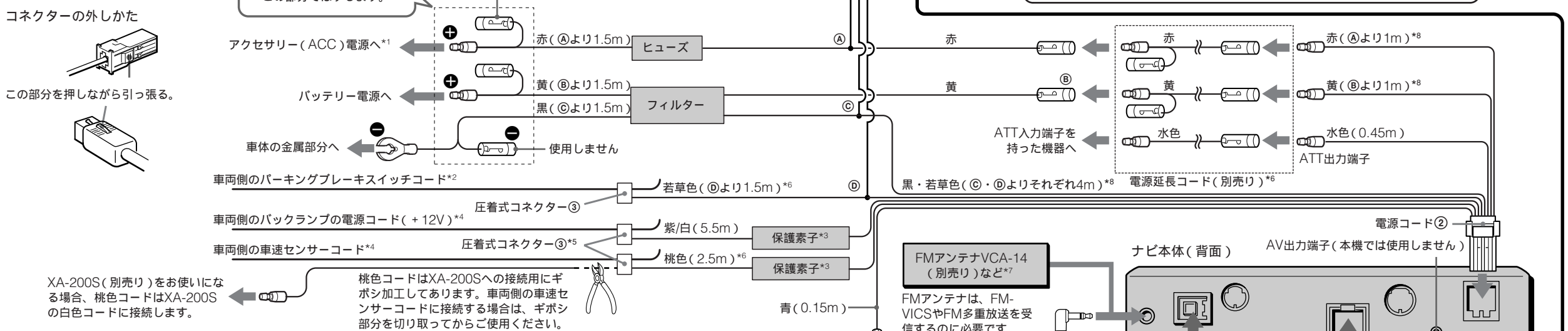
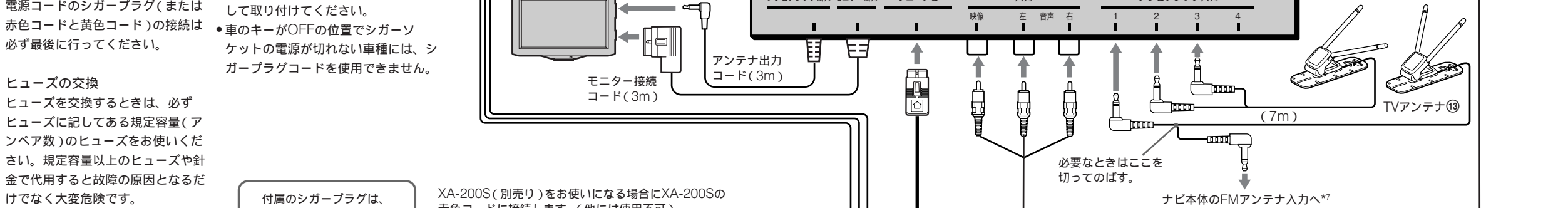


車内に取り付ける場合
リアトレイやダッシュボードに取り付けます。平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。取り付けかたについては詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

ご注意
一部のウィンドウガラス(フロント、リア等)にも、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

接続図

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。 取り付ける車両の詳しい資料については、「ソニー-FAXインフォメーションサービス」(裏面左下参照)をご利用することもできます。
本機の接続コードの色は、JEITAコードカラーに準拠しています。



ナビ機能をよりよく活用するためのコード

水色コード(ATT出力端子)	ソニー製カーオーディオがATT入力端子のあるセットに接続すると、ナビの音声ガイド時にカーオーディオの音量が自動的に下がります。この機能を使用しない場合、接続する必要はありません。
青色コード(アンテナリモート端子)	XA-48FMなどの別売アンテナ分配器でFM-VICSのアンテナ入力にカーラジオのアンテナを利用する場合に接続します。車両側にパワーアンテナコントロール電源がない場合や手動式のロッドアンテナの場合は、接続する必要はありません。
紫/白コード(バックランプ電源コード接続用)	バックランプ電源コードに接続すると、車両がバックしたときに生じる自車位置の誤差をなくすことができます。
桃色コード(車速センサーコード接続用)	車速センサーコードに接続すると、GPS衛星からの電波が正しく受信できないときでも自律センサーの動きによって正しい自車位置を把握することができます。

各コードの接続について
正確な測位、または安全のため、圧着式コネクタを使用して各コードを接続します。各コードの組み合わせについては、以下の表を参照してください。上欄「接続図」もあわせてご覧ください。(コードの色は、JEITAコードカラーに準拠しています。)

ナビ本体側	車両側
桃色コード	車速センサーコード
紫/白コード	バックランプの電源コード
若草色コード	パーキングブレーキスイッチコード

圧着式コネクタ⑬の使いかた
●ご注意
車両側パーキングブレーキスイッチコードが短い場合、接続が不十分になることがありますのでご注意ください。

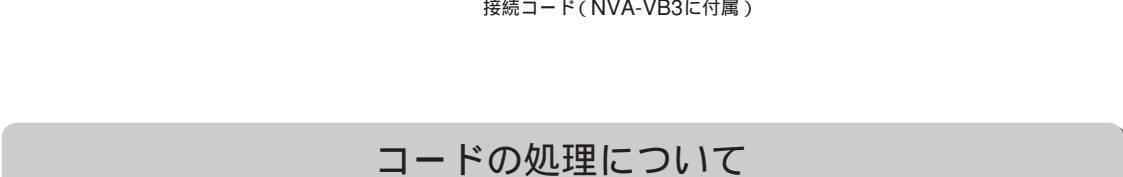


パーキングブレーキスイッチコードの位置について
パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。



ビーコンユニットや携帯電話との接続について

ご注意
●CD/ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。
●一部のデジタル携帯電話は使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。
●PDCインターネットユニットの接続は、コネクションボックス接続コード⑭を接続した後に行ってください。



コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかまると、非常に危険です。また、モニター接続コードは、ナビ本体からできるだけ離してください。近くに設置すると、テレビ画面にノイズが発生することがあります。

